令和２年３月19日

関　係　各　位

群馬医療福祉大学

令和２年度　教員免許状更新講習のお知らせ

平素より、本学の教育・研究の振興に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成１９年度６月に教育職員免許法が改正され、平成２１年度から教員免許状の更新制が導入されました。

群馬医療福祉大学では、この趣旨に基づきまして、令和２年度　教員免許状更新講習を別紙要項により実施いたします。

つきましては、要項を熟読の上、期限内に受講申し込みをいただきますようよろしくお願いいたします。

群馬医療福祉大学
教員免許状更新講習　係
問い合わせ先：
電話 027-253-0294

令和２年度　教員免許状更新講習　実施要項

群馬医療福祉大学

1　講習の目的

令和２年度の教員免許状更新講習の実施により、現職教員等の資質向上に資する。

2　講習の概要

（1）　募集定員　１００人

（2）　講習会場　群馬医療福祉大学 社会福祉学部（前橋キャンパス）

前橋市川曲町１９１－１：ＪＲ新前橋駅からバス１５分

関越自動車道高崎インターから５分

（3）　講習時間数　合計３０時間（６時間×５講座）

【必修】領域：６時間、【選択必修】領域：６時間、【選択】領域：１８時間

（4）講習日程　８月１７日（月）～８月２１日（金）

8/17（月）	8/18（火）	8/19（水）	8/20（木）	8/21（金）
【必修】講座	【選択必修】講座	【選択】講座	【選択】講座	【選択】講座
１講座	２講座	３講座	３講座	３講座

※　開設内容については後掲の開設講座一覧をご覧下さい。

（5）　講習時間　午前９時２０分から午後５時００分

①　オリエンテーション（9:20-9:30）

②　授業　７５分×４（9:30-10:45、10:55-12:10、13:10-14:25、14:35-15:50）

③　修了認定試験（16:00-16:50）　アンケート（16:50-17:00）

（6）　受講料　１講座　6,000 円

（7）　その他

①　駐車場には限りがありますので、できるだけ乗り合いでお越しください。

②　校舎内は上履き使用になっておりますので、「上履き」をご準備下さい。

③　昼食は受講者ご自身で用意していただきますが、学内の食堂も利用可です。

3　受講対象者

（1）　2021（令和 3）年 3 月 31 日、2022（令和 4）年 3 月 31 日に修了確認期限を迎える旧免許状所持者。

（2）　有効期間の満了の日が、2021（令和 3）年 3 月 31 日、2022（令和 4）年 3 月 31 日である新免許状所持者。

※上記（1）（2）該当の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の教員・養護教員。

（3） 現在、休眠状態の免許状を所持する方は受講が可能な場合があります。
（詳しくは、担当者までご相談・ご確認をお願いします。）

※３０時間（必修講座６時間、選択必修講座６時間、選択講座１８時間）受講可能な方を原則受講者として受け付けますが、受講者の都合等により部分的な講座のみを受講することも可能です。（ただし、教室の収容力を越える場合等については、お断りをさせていただくことがあります。）

4　申込手続き・諸注意等

（1） 受講申込み

① 本学ホームページからダウンロードした「受講申込書」に必要事項を記入の上、所属長の証明を受けてください。

② 角２（Ａ４が入る）サイズの封筒に必要書類等一式を入れ郵送で申し込んでください。

③ 《必要書類等一式》

a.「受講申込書」（写真貼り付け、所属長の証明を得たもの）
b.「受講にあたっての課題意識等」（1講座のみ・1枚で結構です。）
c. 94円切手を貼り付けた「返信用封筒（長形３号：120 × 235㎜）…3通」
【1回目通知・2回目通知・修了（履修）証明書の送付に使用】
（表に、受講者の「郵便番号」「住所」「氏名」を必ず書いてください。）

※　申込み宛先　〒３７１－０８２３　前橋市川曲町１９１－１
群馬医療福祉大学　教員免許状更新講習　係

④ 確認のため、下記宛にメールで申込み済み連絡をしてください。
✉　menkyo-ks@shoken-gakuen.ac.jp
〈件名〉「教員免許状更新講習申込み」
〈本文〉
「１．氏名、２．郵便番号、３．住所、４．連絡が付く電話番号、５．勤務先」

（2） 申込み期限　令和２年４月１６日（木）～６月１２日（金）必着
ただし定員に達し次第、締め切らせていただきます。

（3） 申込み上の諸注意

① 「受講申込書」は必ず本年度版を利用し、記入漏れがないよう確認の上申し込んでください。※「受講申込書」の内容等に不備があった場合は、電話連絡を入れます。

② 「受講にあたっての課題意識等」（1枚）にもご記入の上ご返送ください。

③ 【必修】講座（1講座）・【選択必修】講座（2講座）・【選択】講座（3日間・各3講座）の定員数等への申込み状況により受講者の決定を行います。

（4）受講者決定までの主な流れ・その後の通知内容等

1) 必要書類に不備がないことが確認された場合、受講者を決定します。

2) 第1回目通知【受講者の決定後、下記書類を6月中旬頃までに発送します。】

①受講確定通知　②受講確認通知証　③受講辞退の取り扱い　④振込依頼書

※書類内容等に不備・間違い等があった場合は、至急連絡をお願いします。

なお「受講確定通知」が7月3日（金）までに届かない方は連絡をお願いします。

※受講の当日「受講確認通知証」は必ずご持参ください。【本人確認を「受講確認通知証」と身分証明書（運転免許証、パスポート、職員証など）で行います。】

3) 受講料の納付

「受講確認通知証」が届いた受講者は、指定された期日までに確実に納付をお願いします。

「振込依頼書」は、受講確認通知証とともに送付いたします。

【振込方法】

①銀行等の窓口で「振込依頼書」で納付する。

②各金融機関ATM・コンビニATMから指定の口座へ振り込む。

（受講する講座数により受講料が変わります。①・②ともに手数料は受講者負担で願います。）

※①振込後「振込依頼書」添付の「振込確認書」を大学宛て送付する。

②振込後「振込依頼書」添付の「振込確認書」にATMから出力された「キャッシュサービスご利用控」等を添付し、大学宛て送付する。

なお、指定された期日までの講習のキャンセルについては返金いたします。

※振込期限　令和2年7月17日（金）

4) 第2回目通知【事前の詳細についての案内を、7月中旬頃までに発送します。】

①事前案内通知　②駐車場のご案内　③受講場所の案内図　④日程表（会場一覧）

※書類内容等に不備・間違い等があった場合は、至急連絡をお願いします。

（5）問合せ先　〒371－0823　前橋市川曲町191－1

群馬医療福祉大学　教員免許状更新講習　係

電話　027-253-0294

4　開設講座一覧　※各講座の詳しい内容については、本学ホームページをご覧ください。

※講師は変更の可能性がありますので、ご了承ください。

【必修】講座

開設日	開設講座名	定員	担当講師	受講料
8月17日(月)	【必修】最新の教育事情と学校現場の課題	100人	時田　詠子（社会福祉学部教授） 小林　義信（高等教育支援ｾﾝﾀｰ副ｾﾝﾀｰ長・社会福祉学部講師）	6,000円

【選択必修】講座

開設日	開設講座名	定員	担当講師	受講料
8月18日(火)	【選択必修1】教育相談の理解　ー児童・生徒の現状と課題からー	50人	大島　由之（社会福祉学部助教） 青木美穂子（社会福祉学部講師）	6,000円
8月18日(火)	【選択必修2】小学校における新たな学びー英語・プログラミング学習についてー	50人	五十嵐久子（社会福祉学部講師） 藤本　壱（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学部教授）	6,000円

【選択】講座

開設日	開設講座名	定員	担当講師	受講料
8月19日(水)	【選択1】子どもに関わる現代社会の課題	40人	榊原　清（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学部講師） 植原美智子（社会福祉学部講師）	6,000円
8月19日(水)	【選択2】幼児教育・保育の課題と展望	30人	田中　輝幸（社会福祉学部准教授） 吉澤　幸　（社会福祉学部助教）	6,000円
8月19日(水)	【選択3】福祉現場での体験学習　ー福祉・介護の基礎知識と施設体験ー	30人	白井　幸久（短期大学部教授） 矢嶋　栄司（短期大学部助教） 辻　志帆　（短期大学部講師）	6,000円
8月20日(木)	【選択4】作業療法の視点から見た子ども理解と支援のあり方についてー感覚統合とシーティングー	30人	古田　常人（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学部教授） 宮寺　亮輔（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学部講師）	6,000円
8月20日(木)	【選択5】特別支援教育の視点による児童生徒への適切な支援を考えるー教育・福祉の最近の動向ー	40人	江原　京子（社会福祉学部教授） 川端奈津子（社会福祉学部助教）	6,000円
8月20日(木)	【選択6】子どもの表現力を育む指導の工夫	30人	関根　和子（社会福祉学部講師） 高橋美穂子（社会福祉学部講師）	6,000円
8月21日(金)	【選択7】運動による障害予防　ー理学療法の観点からー	40人	柴　ひとみ（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学部准教授） 新谷　益巳（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学部助教）	6,000円
8月21日(金)	【選択8】思春期における危機と対策	30人	酒井　美子（看護学部教授） 山下　博子（看護学部講師）	6,000円
8月21日(金)	【選択9】学校・家庭・地域社会の連携と課題	30人	新木　惠一（社会福祉学部教授） 櫻井　秀雄（社会福祉学部教授）	6,000円

群馬医療福祉大学　教員免許状更新講習の概要等　（対象職種：教諭・養護教諭）

開設日	講習の名称	講習の概要	定員	担当講師	時間数	受講料
8月17日(月)	【必修】最新の教育事情と学校現場の課題	最新の教育事情や学校を巡る諸課題及び教員の役割について、理論だけでなくアクティブ・ラーニングも取り入れ学ぶ。また、特別支援教育の考え方を理解し、子供の発達に関する課題や今後の指導方法について考える。	100人	時田　詠子（社会福祉学部教授） 小林　義信（高等教育支援センター副センター長・社会福祉学部講師）	6時間	6,000円
8月18日(火)	【選択必修1】教育相談の理解ー児童・生徒の現状と課題からー	児童・生徒の現状と課題を探り、教育相談の観点から不登校やいじめ問題等について考え、その予防や対処について理解を深める。	50人	大島　由之（社会福祉学部助教） 青木美穂子（社会福祉学部講師）	6時間	6,000円
8月18日(火)	【選択必修2】小学校における新たな学びー英語・プログラミング学習についてー	幼小と小中の連携の観点も踏まえて、新学習指導要領における、小学校外国語（英語）への期待とその実践について考える。また、合わせて、求められる「プログラミング的思考」とはどういうものなのか、どのような事例で指導すればよいのかを理解する。	50人	五十嵐　久子（社会福祉学部講師） 藤本　壱（リハビリテーション学部教授）	6時間	6,000円
8月19日(水)	【選択1】子どもに関わる現代社会の課題	発達障害や児童虐待等の教育に関わる現代的課題について考え、学校における対応や家庭、児童福祉機関と学校との関わり方、地域との連携等について学ぶ。	40人	榊原　清（リハビリテーション学部講師） 植原　美智子（社会福祉学部講師）	6時間	6,000円
8月19日(水)	【選択2】幼児教育・保育の課題と展望	幼児教育や保育の質の向上を目指し、幼児期の発達段階や遊びと学びの関係について理解を深める。また、日本の幼児教育や保育の現状と課題、及び幼保小の連携等について学び、家庭での子育て支援にも資する。	30人	田中　輝幸（社会福祉学部准教授） 吉澤　幸（社会福祉学部助教）	6時間	6,000円
8月19日(水)	【選択3】福祉現場での体験学習ー福祉・介護の基礎知識と施設体験ー	総合的な学習の時間などで、児童・生徒が社会福祉施設での体験学習を実施する際に必要となる、利用者への対人援助の基本である知識・技術を習得し、介護や福祉の理論や実践指導のポイント等について学ぶ。	30人	白井　幸久（短期大学部教授） 矢嶋　栄司（短期大学部助教） 辻　志帆（短期大学部講師）	6時間	6,000円
8月20日(木)	【選択4】作業療法の視点から見た子ども理解と支援のあり方についてー感覚統合とシーティングー	感覚の特徴とその問題、及び学習との関係について学ぶ。また、学習において、良い姿勢の意義や不良な座位姿勢の弊害について考える。	30人	古田常人（リハビリテーション学部教授） 宮寺亮輔（リハビリテーション学部講師）	6時間	6,000円
8月20日(木)	【選択5】特別支援教育の視点による児童生徒への適切な支援を考えるー教育・福祉の最近の動向ー	「インクルーシブ教育システム」の構築の重要性が謳われている。福祉・教育の両面から多職種連携も含め、教師の指導力と学校の支援体制について習得する。	40人	江原　京子（社会福祉学部教授） 川端奈津子（社会福祉学部助教）	6時間	6,000円
8月20日(木)	【選択6】子どもの表現力を育む指導の工夫	生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成する指導の工夫について、造形遊びの実技を通して考える。また、ダンスを通して他者との共感力を高め、コミュニケーション力および自己の開放手段等、生きる力を養う指導の内容と構成について模索する。	30人	関根　和子（社会福祉学部講師） 高橋美穂子（社会福祉学部講師）	6時間	6,000円
8月21日(金)	【選択7】運動による障害予防ー理学療法の観点からー	ラジオ体操を教材とし、心拍数の変化・うつ病予防・身体の動き等との関連を通じて運動器検診の実際について理解を深める。また、幼児期から成人に至るまでの体力・運動能力の向上と並行して、スポーツ外傷の発生とその対応について学ぶ。	40人	柴ひとみ（リハビリテーション学部准教授） 新谷益巳（リハビリテーション学部助教）	6時間	6,000円
8月21日(金)	【選択8】思春期における危機と対策	思春期の心理的特徴と社会的病理による、生きにくさを事例などから理解する。また、子どもの自己肯定感を高める主体的な生き方の支援方法として、ピアカウンセリング手法の体験学習から深め、成長期の課題について学ぶ。	30人	酒井　美子（看護学部教授） 山下　博子（看護学部講師）	6時間	6,000円
8月21日(金)	【選択9】学校・家庭・地域社会の連携と課題	学校・家庭・地域の役割分担や相互の連携を踏まえて、地域全体で取り組む体制づくりを考える。また、地域社会のスポーツ環境を理解し、障がい者スポーツの体験を通じてノーマライゼイションを考える。	30人	新木　惠一（社会福祉学部教授） 櫻井　秀雄（社会福祉学部教授）	6時間	6,000円